

ふくちゃん4年生

ふくちゃんが、4年生に
なった秋、台風がやってきて、
とても強い風がふきました。
地面には、まつぼっくりが、
落ちていました。

ふくちゃんは

まつぼっくりをいっぱい
ろって

1年生のお友だちにプレゼ
ントしました。

おしまい

ふくちゃん まつぼっくり



ふくちゃん

小学4年生の男の子。

お餅から生まれました。お友だちがたくさんいます。



<http://kodomohikari.com>

監修・写真：小笠誓治（兵庫県立人と自然の博物館）

イラストレーション：いよりふみこ

このリーフレットは「2013年全労済地域貢献助成事業」により作成しました。

ふくちゃんが生まれた春

ふくちゃんの生まれた、あ
る春の日のことです。地面か
ら、小さな芽が顔を出しまし
た。

それはマツの木でした。
マツの木は、毎年、幹や枝
をのびし、すくすくと育って
いきました。



ふくちゃん1年生

それから6年がたち、ふく
ちゃんは、ピカピカの1年生
になりました。

その春、マツの木の枝さき
に、はじめて花がさきました。
花には、白い男の子の花と、
赤い女の子の花がありました。



男の子の花は、すぐに、お
ちてしまいました。

夏になると、女の子の花
は小さな、みどりいろのまつ
ぼっくりになりました。

秋になると、小さなみどりの
のまつぼっくりは、ちょっと
大きくなりました。



そして、寒い冬がやってき
ました。小さなみどりのまつ
ぼっくりは、寒くてもじっと
がまんをしていました。



ふくちゃん2年生

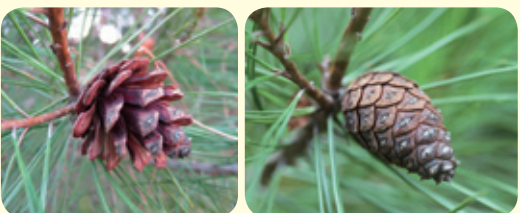
ふくちゃんは、2年生にな
りました。

小さなみどりのまつぼっく
りは、少し、大きくなりました。
た。ちょっとはなれたところ
に、新しい枝がのび、その先
に、また新しい花がさしまし
た。

夏になると、小さなみどりの
のまつぼっくりは、ずいぶん
大きくなりました。

秋、小さなまつぼっくりは、
ぐんぐん大きくなって、つい
に茶色のりっぱなまつぼっく
りになりました。

秋晴れのある日、まつぼっ



くりがパツと開いて小さなタ
ネが飛んでいきました。

また、寒い冬がやってきま
した。

まつぼっくりは、タネが飛
んでいったあとも、ずっと枝
についていました。

ふくちゃん3年生

春がきて、ふくちゃんは、
3年生になりました。まつ
ぼっくりは、まだ、がんばっ
て、枝にくっついていました。

新しくできた小さなまつ
ぼっくりのそばから、新しい
枝がのびて、新しい花が咲き
ました。



これはタネだよー！